

塩酸アマンタジンに係る異常な行動が記録されている事例  
 (平成10年11月(効能追加)～平成19年5月31日に第一報報告があったもの)

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	C98-18236	女	9■歳	ジアゼパム スピロラクトン シルニジピン 塩酸プロピペリン ジゴキシン アルファカルシドール	激越 幻覚 言葉もれ 錯乱状態 独語 不安	死亡 不明 不明 死亡 不明 不明	軽度の高血圧、心不全、神経因性膀胱で加療。 アマンタジン投与開始5日目、目がらんらんとして興奮状態になり幻覚症状によりベッドの下をのぞき込む動作が何度も見られた。 投与7日目朝、ベッドの柵をはずし、たちあがったり、不穏状態。 投与8日目朝、ベッドから転落、顔部裂傷・打撲、右手打撲。 投与9日目朝、ベッド上座位にしてもすぐに横にくずれる。 投与10日目朝、ベッド上ぐるぐる回りベッドのさくに顔をはさんだり、体動が激しくなって、独語が多くなる。 投与11日目午後、多弁、ベッド上体動が激しい。本剤投与中止。その夜中も入眠せず体動が多い。 投与中止2日目の朝、多弁で体動が活発、ベッドから降りようとする。 投与中止4日目の朝、訪室の際に、ベッドの鉄さくの間より頭～肩～腕を突っ込んで上半身垂れ下がった状態で発見される。呼吸停止、顔面(四肢)のチアノーゼ著明。3時間後、永眠
2	C99-18560	男	■歳	アミノフィリン セフトリアキソンナトリウム ツロブテロール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン メフェナム酸	意識レベルの低下 激越 錯乱状態 振戦 排尿困難 不眠症	回復 回復 回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザで前進状態が悪く入院。塩酸アマンタジンなど投与開始。 翌早朝から、悪寒あり。意識は清明。その後、上肢のふるえ、全身倦怠感あり。本剤投与中止。 午後、それまで眠っていたが急に興奮してベッド上で暴れまわる。訳のわからないこともいっている。上肢のふるえなし。アミノフィリン中止、強制利尿させる。夕方、落ち着く。
3	C02-4656	女	■歳	ファロペネムナトリウム クラリスロマイシン 硫酸セフピロム	言葉もれ 好中球減少症 情動障害 注意欠陥多動性障害 注意力障害	回復 回復 回復 回復 回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン内服開始。 投与4日目、学校で朝礼中に角の方へ突然フラフラと歩く。帰宅後口腔内に異物をくわえているのを父親が見つかる。 投与5日目、本剤中止。 投与中止2日後、情動失禁、多弁、多動見られる。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
4	C03-2033	男	3■歳	マレイン酸フルボキサミン セフジニル 塩酸アンブロキシール 酸化マグネシウム	錯乱状態	回復	A型インフルエンザを疑い、塩酸アマンタジンなど3日間投与。 投与終了2日後、物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で受診。その夜、自宅で急性錯乱状態となる。 自らおかしいと警察へ通報し、警官に付添われ当院精神科病院を受診。急に外へとび出そうとする等がみられたことから、入院となる。 入院翌日、落ち着きが見られた。(症状軽快)
5	B06008363	男	1■歳	リン酸オセルタミビル	自殺既遂	死亡	塩酸アマンタジンを処方されていた患者が自殺した。
6	B06026877	男	1■歳	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン投与。その4時間後、自宅2階へ上がり、ベランダから柵に足をかけ飛び降りようとしていたため引き止めた。夜、解熱し、意識状態全く正常であった。 投与開始2日目、本剤服用しているが、異常行動はみられていない。
7	B07003835	男	1■歳	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対し本剤服用後、解熱用シートにばい菌が付いていると言ってはぎとり、家の中をボーッと歩き回る。その後就寝。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	C98-18236	不明
2	C99-18560	○
3	C02-4656	不明
4	C03-2033	×
5	B06008363	不明
6	B06026877	○
7	B07003835	○

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの  
3例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの  
1例

不明：検査が実施されていないもの等

3例

塩酸アマンタジンに係る異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例  
(平成10年11月(効能追加)～平成19年5月31日に第一報報告があったもの)

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	C12583	男	3■歳	マレイン酸エナラプリル ベシル酸アムロジピン フロセミド 総合感冒剤 塩酸セトラキサート	悪性症候群	軽快	慢性糸球体腎炎で外来通院中、塩酸アマンタジンなど処方。 投与開始5日目より、手の振戦、異常感覚の出現。本剤投与中止。 投与中止1日後、精神錯乱状態となり入院。 投与中止4日後、意識障害、筋硬直痙攣出現。HR140、発熱、発汗を認め悪性症候群と診断。 投与中止11日後、意識障害の改善、異常行動、筋強直性痙攣などの悪性症候群の改善。
2	C99-1303	男	5■歳	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン イブプロフェン	筋痛 筋痙攣 血尿 歩行障害 譫妄	回復 回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザを疑い塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始4日目、譫妄状態出現。徐々に悪化。 投与開始5日目、譫妄状態の為診察。本剤投与中止。歩行困難、筋痙攣あり。 薬剤最終投与から5日後、発症から症状すべてほぼ回復。その後、特に異常無し。
3	C99-2517	女	3■歳	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ リン酸ペンプロペリン エチゾラム プロナーゼ 補中益気湯	食欲減退 うつ病	回復 回復	インフルエンザA型として塩酸アマンタジンを処方。 投与開始3日目、気分不良、うつ状態、食欲不振などの症状出現。本剤中止。 その後も「自殺を考えた」などの症状あり心療内科を受診。次第に回復。
4	C99-3537	男	4■歳	リン酸ジメモルファン カルボシステイン セラペプターゼ	悪夢 幻覚 独語	回復 回復 回復	インフルエンザの診断にて塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目の夜、幻覚、変な夢、寝言様のひとりごとを発する。 投与開始3日目、夜同様に幻覚、悪夢、独語出現。 投与開始4日目、再診、本剤中止。
5	C99-5211	女	9■歳	ベシル酸アムロジピン ジピリダモール	激越 食欲減退 低カリウム血症 不眠症	回復 軽快 回復 回復	塩酸アマンタジンをインフルエンザ感染症の予防のため服用開始。 投与開始15日目、不眠、興奮、食欲低下、低カリウム血症発現。 投与開始16日目、本剤中止。 投与中止13日後、不眠、興奮症状回復。 投与中止20日後、食欲低下、低カリウム血症改善。
6	C99-17282	女	8■歳	記載なし	錯乱状態 妄想	回復 回復	インフルエンザで、塩酸アマンタジンを投与開始。 投与5日目、妄想、錯乱をきたし、歩行困難となる。本剤投与を中止。 投与中止12日後、回復を確認する。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
7	C99-19973	男	■歳	クラリスロマイシン	幻覚 振戦	回復 回復	インフルエンザとの診断で、塩酸アマンタジン処方。 その日の夕方、手指振戦、脈絡のない言動出現したため入院。意味不明な発言を認め、意識障害あり。本剤中止。 投与中止1日後、一度解熱し、夕方ごろまでは意味不明の言動が見られたが、その後は認められず。
8	C99-19974	男	■歳	ヒベンス酸チペピジン 塩酸アンブロキシール プラノプロフェン	錯乱状態 蒼白 動悸	回復 回復 回復	インフルエンザと考え、塩酸アマンタジン投与。 1回目の服用では特に変化はなかった。 夕方、本剤2回目の服用1時間後、顔色不良となり、母親の顔がわからなくなり、うわ言のような事を言っていた。また動悸がしていた。約1時間この症状は続き消失した。
9	C99-19976	男	■歳	セファクロル ヒベンス酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	痙攣	軽快	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジンが処方。 昼 アマンタジン内服後仮眠した。その約3時間後 仮眠から覚醒し、上肢硬直、口唇をかんで、眼球前方固視する。呼びかけに反応なかった。 その後、当院受診。意識清明、髄膜刺激症状なし。CT異常なし。本剤投与中止。その後はけいれん、せん妄など認めず。
10	C99-19981	女	2■歳	マレイン酸フルボキサミン ロフラゼパ酸エチル エスタゾラム ジアゼパム プロチゾラム	人格障害 精神症状	不明 不明	性格障害、不眠、自律神経失調症等のため通院加療中。 塩酸アマンタジン投与(4日間)開始。 投与開始2日目、本剤服用(4回目)後、多重人格障害が発現。 投与開始3日目、母親と来院。以前より狂暴化していた。
11	C99-19982	女	■歳	塩酸セフカペンピボキシール ヒベンス酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロムヘキシシ	脳症 痙攣	軽快 軽快	インフルエンザの診断でアマンタジンを投与。 投与開始2日目、15分以上の痙攣出現。当院に搬送し入院。本剤中止。以後ずっと入眠しており脳症を疑う。 投与中止3日後、開眼するようになる。 投与中止8日後、徐々に歩行出来るようになる。
12	C99-19983	女	■歳		意識レベルの低下 会話障害 筋痛 筋力低下 振戦	回復 回復 回復 回復 回復	塩酸アマンタジン処方され、昼と夜の2回、本剤を投与。その日の夜、右手翼状振戦5~6回、視線合わず、呼びかけても反応しない。意識障害に気づく。その後、当院受診。意識やや混濁。うなずく動作は可能だが言語せず。全身の筋力低下。本剤中止。 投与終了1日後、夜中に小さなかすれ声が一言のみ出る。発声は徐々に増加。

No	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
13	C00-152	女	4■歳	塩酸セフカベンピボキシル 塩酸クロフェダノール スルピリン	神経症 うつ病	不明 不明	本剤投与開始。 投与開始4日目、本剤投与終了。 投与終了2日目夜、夕食時、急に不安定、電話をかけまくる。不眠となる。 投与終了3日後、安静にせず、言うことを聞かない。躁の状態となる。
14	C00-358	女	3■歳	セフジニル メフェナム酸 塩酸プロムヘキシ プロナーゼ ポビドンヨード ジクロフェナクナトリウム 麻黄湯	てんかん	回復	インフルエンザで塩酸アマンタジン服用開始。 投与3日目の夜、本剤服用3時間後と5時間後に発作発生。
15	C00-1834	女	■歳	ホスホマイシンナトリウム メクロプラミド セフジニル フマル酸ホルモテロール 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸プロムヘキシ	意識レベルの低下 脂質代謝障害	回復 回復	塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始4日目。午前、前日夕方よりぐったりしており、傾眠傾向で夜中にミルク150ml飲んだだけとのことで、インフルエンザ脳症疑いで、病院へ搬送入院となる。入院時血糖67mg/dl、尿ケトン体(+++)であったが、入院時は意識清明で、CT、EEG異常なし。ケトン性低血糖の疑いと診断。 投与開始6日目、本剤投与終了。 投与終了2日後、昼。急に暴れだし、尿失禁後昏睡状態になる。その15分後、来院。傾眠傾向、血糖25mg/dlで入院加療となる。更に1時間40分後。血糖192mg/dl、意識清明。
16	C00-2213	女	■歳	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール カルボシステイン	痙攣	軽快	A型インフルエンザで塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与6日目、解熱。その後、けいれん出現。
17	C00-2573	男	■歳	ストレプトキナーゼ ストレプトドルナーゼ	意識消失 蒼白 末梢冷感	回復 回復 回復	塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目の夕方 本剤服用1時間後 顔面蒼白となる。四肢冷感を伴うが、意識は正常。その1時間後、回復する。 投与開始5日目の朝 本剤服用。昼、顔面蒼白となり眠り出す。たたいてもおきず、応答なし、四肢冷感も伴った。 その後、近医を受診。徐々に顔色回復し、眼はさめたがもうろうとしていた。四肢冷感消失。夕方 正常に回復した。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
18	C00-3531	女	6■歳	ヒューマンモノコンポー ネントインスリン 塩酸ジラゼブ	ジスキネジー	回復	透析療法中。 インフルエンザA型で、塩酸アマンタジン投与開始。 投与4日目、体の不随意運動あり。食事するにも振戦強く不自由。本剤投与中止。 投与中止2日後、症状悪いため、透析。麻痺(一)。その後も体のふるえがあるため、日常生活も不自由、話すのでもふるえる。 投与中止9日後、透析後に血液浄化。その後しだいに体のふるえは改善。 投与中止27日後、ほぼ振戦は消失した。
19	C01-1124	男	1■歳	セフポドキシムプロキセチル サリチルアミド・アセトアミノ フェン ・無水カフェイン・メチレンジサ リチル酸プロメタジン配合剤 塩酸クロフェダノール	意識消失 痙攣	回復 回復	インフルエンザと診断、塩酸アマンタジン投与開始。夕食後、トイレに行き、気分が悪くなる。その夜、嘔気。その後入眠。深夜、全身痙攣発作が発現し、救急車で病院に搬送された。 点滴加療中、約30分、意識なし。約3時間点滴で様子観察し、帰宅。
20	C01-1290	男	■歳		熱性痙攣	回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 本剤1回服用後、けいれん発現。けいれんはすぐに治まる。
21	C01-1302	男	■歳	カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール d-マレイン酸クロルフェニラ ミン	意識レベルの低下 眼筋麻痺	回復 回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン服用2時間後に意識障害。眼筋麻痺あり。 その30分後には意識清明となる。 翌日患者は、昨日のことを覚えていなかった。
22	C01-1887	男	■歳	レバミピド 塩酸ロメフロキサシン セラペプターゼ アセトアミノフェン	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、朝、本剤服用後、眠る。その1時間30分後、全身強直性けいれんとチアノーゼ出現。本剤中止。 投与中止1日後、症状再発なし。
23	C01-2067	女	■歳	乳糖 アセトアミノフェン	幻覚 情動障害	回復 回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン処方。その夜、幻覚、情動障害出現。その2時間後、受診するも意識清明、神経症状なし。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
24	C01-2984	男	1■歳	なし	悪性症候群	回復	A型インフルエンザ脳症と診断され、塩酸アマンタジンによる治療開始。 投与5日目、意識はほぼ正常になり、Cr値も低下したので、本剤終了。 投与終了1日後、突然発熱、意識障害が発現し、筋固縮が増強。 本剤中断による悪性症候群を疑い、塩酸アマンタジンを再度投与したところ、発熱、意識障害、筋固縮は速やかに消失した。
25	C01-3885	女	■歳	エリスロマイシン	不機嫌 嘔吐 痙攣	回復 回復 回復	塩酸アマンタジンを昼頃服用。夕方に嘔吐発現。夜に痙攣発現。 翌日平常に戻った。
26	C01-8917	男	■歳	なし	傾眠	軽快	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジンの投与開始。 投与3日目、朝より傾眠傾向。当院入院。 投与5日目、本剤中止。 投与中止6日目ほぼ完全に覚醒。
27	C02-972	女	1■歳	メフェナム酸 セフジニル	意識レベルの低下	軽快	塩酸アマンタジン投与12時間後、幻視を伴って意味不明のことを言う。 翌日には意識清明となった。
28	C02-973	女	■歳	ジアゼパム カルバマゼピン	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザA型のため、塩酸アマンタジンの投与18時間後、応答が鈍いため入院。 翌日、意識清明となった。
29	C02-998	女	1■歳	スルピリン 臭化水素酸デキストロメ トルファン 塩酸アンブロキシソール セファクロル 塩酸ジサイクロミン・水酸化ア ルミニウムゲル・酸化マグネ シウム配合剤	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	アマンタジンを処方。 夕方、処方薬を服用後、20-30分で痙攣様発作、目が白目となりショック様となり、数分で消失した。本剤投与中止。



No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
30	C02-1168	女	■歳	塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム 臭化水素酸デキストロメ トルファン dl-塩酸メチルエフェドリン	熱性痙攣	回復	熱性痙攣の既往あり。 夜、塩酸アマンタジン内服約1時間後、持続痙攣あり。続いて嘔吐。その後、受診。意識混濁持続。 投与2日目、傾眠。本剤の内服を続けるも痙攣なし。 投与3日目、本剤投与終了。
31	C02-1500	女	2■歳	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急病院へ。患者はその後回復した。
32	C02-1501	女	2■歳	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急病院へ。患者はその後回復した。
33	C02-3035	男	2■歳	ジクロフェナクナトリウム 塩化リゾチーム セフジニル シンナリジン	悪寒 浮動性めまい	未回復 不明	塩酸アマンタジン服用5時間後、悪寒とふらつきが出現。 本剤服用9時間後、再診。再診時には悪寒のみあり。本剤中止。
34	C02-4300	男	1■歳	セフテラムピボキシル 塩化リゾチーム メフェナム酸	幻覚	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、幻視が出現。1日に数回認められた。本剤中止。 投与中止1日後、解熱し、感冒様症状は軽快したが、その後も1日に1-2回の幻視を認めた。 投与中止10日後、上記の症状が持続するため、小児科を受診。明らかな神経学的所見を認めなかったが、脳波検査中も幻視が出現した。
35	C02-8261	女	■歳	なし	間代性痙攣	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。 その夜、手足のびくつきから始まる。強直性・全身性のけいれんが約30分持続した。 その20分後、救急受診。末梢のチアノーゼあり。
36	C02-8872	女	■歳	塩酸シプロヘプタジン ラクトミン 臭化水素酸デキストロメ トルファン	意識レベルの低下 蒼白	回復 回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。 投与8日目、意識障害、顔面蒼白が発現。本剤投与中止。 投与中止1日後・3日後、意識障害、顔面蒼白が発現。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	C02-8882	男	■歳	なし	錯乱状態	回復	夕方、塩酸アマンタジンを1回目飲ませたが吐いたため、2回目をまたすぐに飲ませた。しかし、そのときも吐き、3回目でやっと吐かずに飲ませた。服用30分後、錯乱状態とより、暴れたため、受診した。服用1時間後、錯乱したことは覚えていなかった。翌日、何もなかったように落ち着く。
38	C02-9348	男	■歳	なし	血中クレアチンホスホキナーゼ増加 浮動性めまい	回復 軽快	インフルエンザAと診断され、アマンタジン処方。投与2日目、深夜から9時間の間に嘔吐4回あり。朝アマンタジン内服したが、直後に嘔吐があったため、2時間半後に再度内服した。夜には解熱し、元気が出てきたが、立つと痛がり、歩行できず。投与3日目、ボーっとしていることが多く、近医を受診。ふらつきも認め、本剤中止。投与中止2日後、起立時、開脚時の痛みは消失。つかまり立ち可。投与中止9日後、ふらつき消失。
39	C02-9361	男	1■歳	メクロプラミド プラシルカスト水和物	ジスキネジー 錐体外路障害	回復 回復	インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジンを処方。ほどなく解熱したものの、嘔気、倦怠感のため2日間ほど食事、飲水量が不十分であった。投与3日目、昼、口腔内の痛み。夕、左顎下痛、後頸部痛出現。夜、夜間救急外来受診。四肢の不随意運動が出現したが、ジアゼパム投与で鎮静化。頭部CTで所見なし。
40	C03-153	男	7■歳	メナテトレノン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール 塩酸エピナスチン シロスタゾール	幻覚 歩行障害 譫妄	回復 回復 回復	脳軟化症で加療中。インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン内服開始。投与6日目、幻覚、せん妄、歩行障害が出現し、徐々に増悪。投与7日目、アマンタジン投与中止。投与中止2日後、全く歩行不能となったため、入院。投与中止4日後、血液透析。投与中止7日後、症状は明らかに改善傾向となり、歩行可能となった。幻覚も消失。
41	C03-322	男	2■歳	酢酸ミデカマイシン	激越 失見当識 振戦 知覚過敏 尿閉 不安	回復 回復 回復 回復 回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジンを処方。薬を内服して解熱はしたものの、食欲不振はつづく。投与開始5日目、立てない、不穏などの症状があり、興奮状態であったため、入院となる。本剤中止。投与中止3日後、興奮、不穏、見当識障害は回復。投与中止4日後、知覚過敏、振戦は回復。

No	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
42	C03-327	男	■歳	塩酸アンブロキシール ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン テオフィリン 塩酸ツロブテロール	幻聴	軽快	インフルエンザが疑われ、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、昼。会話内容がおかしくなり、意識もうろう状態となり受診。本剤中止。 投与中止1日後、昼頃まで会話に疎通性がなかった。その後、意識状態清明。
43	C03-519	女	3■歳	ロキソプロフェンナトリウム	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン3日間内服。 投与終了3日後、異常言動出現。 投与終了6日後、意識改善。
44	C03-741	男	■歳	なし	痙攣	軽快	親が発熱のため姉が内服していた塩酸アマンタジンを服用させた。 翌日、1点凝視、ボンヤリとしたけいれんを認める。 翌々日、意識鮮明。
45	C03-742	女	■歳	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	急性ストレス反応 幻覚 不安 譫妄	回復 回復 回復 回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。 投与3日後、朝、食欲なくボーとなっている。 投与4日後の昼、同じ会話をくり返す。変な会話、幻覚(+)、不安状態。その夕、受診し、本剤中止。 投与中止3日後、夜。会話のくり返しはなくなり、表情も眠気から醒めたようにしっかりしてくる。 投与中止6日後、自ら歩行するようになる。意識、会話はアマンタジン内服前と同じ状態に回復した。
46	C03-745	男	1■歳	なし	痙攣	軽快	インフルエンザの診断で塩酸アマンタジン処方。 投与4日目、嘔吐、その後うつ伏せに倒れ、眼球上転、口から泡をふき強直性けいれんを1分ほどおこし、救急車にて搬送となる。車内で意識は回復したが、傾眠傾向がつづいた。本剤中止。 投与中止3日後、意識清明となる。

No.	識別番号	性	年齢	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
47	C03-1103	女	7■歳	メナテレノン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール ベシル酸アムロジピン	不眠症 譫妄	回復 軽快	慢性腎不全にて腹膜透析中。インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与4日後、熱も下がり本剤投与終了。 投与終了3日後、せん妄(夜間のみ)、不眠が出現。 投与終了7日後、血液透析を行う。その後、寛解と再燃をくり返す。頭部CTは、異常なし。 投与終了4週間後、血漿交換。せん妄、かなり改善。
48	C03-1469	男	■歳	dl-マレイン酸クロルフェニラ ミン プラノプロフェン	活動性低下 無力症	未回復 未回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、顔色不良、ぐったりする。
49	B03010286	女	7■歳	リン酸ジメモルファン	失見当識	不明	インフルエンザで塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、意味不明の言葉を言ったり、見当識障害が発現。本剤投与中止。 投与中止後1週間たっても症状が続いている。
50	B03010920	男	6■歳	マレイン酸エナラプリル ニフェジピン オキサゾラム ニコチン酸トコフェロール	振戦	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与。 投与4日目、顔面、上肢の振戦が出現。本剤中止。 投与中止3日後、次第に振戦が強くなる。 投与中止7日後、突然、完全に振戦消失した。
51	B04008730	男	3■歳	なし	錯乱状態	不明	インフルエンザの治療に本剤を1回処方。錯乱発現。
52	B04010015	男	■歳	アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザで、塩酸アマンタジン処方。同日夜 けいれんあり。 投与2日目、朝、目は開けているが、寝ぼけたような様子で意味のわからないことを話していた。手を上に上げて動かすなどの行動も見られた。その午前 けいれんあり。夜にも同様の症状があった。 投与3日目以降は症状見られていない。
53	B04025396	男	■歳	なし	脳症	死亡	塩酸アマンタジンを服用した小児が発症後1-2日目にインフルエンザ脳症で寝ている間に突然死した。
54	B04026544	男	■歳	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン	幻覚 錯乱状態	不明 不明	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、錯乱の症状があらわれた。